

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	札幌漢仁会リハビリテーション病院	階数	地上5F
建設地	札幌市中央区北10条西17丁目36-13	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	676 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年1月8日
敷地面積	3,839 m ²	作成者	
建築面積	2,215 m ²	確認日	2016年1月18日
延床面積	8,464 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	A 省エネルギー
<p>計画地は3方向が道路に面することから、周辺からの見え方に配慮し、幅員の広い北側、及びメインエントランスとなる東側の道路から後退した位置とした。</p> <p>ファサードデザインは、ガラス面を多く設けることで、周辺の規模の小さな建物に対しても圧迫感を与えない計画とした。また、倉庫やアパートなどが周辺には多いため、門型のフレームを設け、高さを強調しないデザインとし、周辺となじむように配慮した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ビル用マルチエアコンは、標準効率機としては高効率なメーカーの仕様にて選定 個別換気の室には全熱交換器を採用 各トイレすべての便器に節水型便器を採用
B 省資源等	D 雪処理
<p>注)「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場、一部歩道にロードヒーティング設備を設置。 屋上の笠木には、融雪ヒーターを設けることで、雪底に配慮。 メインエントランス前には積雪に配慮し、大庇を設置。
C 緑化	
<p>既存建物は運送所であることから、緑化計画がされていないが、本計画では札幌市の緑化に関する条例に遵守した計画とすることで、周辺地域の環境改善に努めている。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される